

平成30年度 学長戦略経費（公募型プロジェクト）研究成果概要報告書

経費の種類	教員海外発表支援経費
研究者氏名・所属・職名	前田英伸・教育学部岩見沢校・教授
発表標題	作品発表；「Quarter Circle Party Plate」
発表学会名	2018 韓中日陶磁デザイン展 用, Ceramic DNA- Design & Art for Use
発表年月日	平成30年8月31日～9月6日
発表場所 ※会場名・都市名（国名）	駐華韓国文化院展示場 B1・北京（中華人民共和国）
発表内容の概要	<p>（日本語）</p> <p>日本陶磁器デザイン協会、韓国陶磁デザイン協会、中国陶磁工業協会の3団体主催による展覧会に作品参加した。展覧会の出品者は韓国から38名、中国から31名、日本から10名であった。</p> <p>出品した作品は、同心円の4分の1の円弧を持つ3種類の形状を持つプレート、組み合わせにより、正円から楕円、波形など、円弧同士の繋がり非常に多様な形状が展開できるものである。</p>
	<p>（英語）</p> <p>I participated in an exhibition hosted by the Japan Ceramic Design Association, the Korean Ceramic Design Association, and the Chinese Ceramic Industry Association.</p> <p>The exhibitors of the exhibition were 38 from Korea, 31 from China and 10 from Japan.</p> <p>My works exhibited are three types of plates with concentric quadrant arcs, and depending on the combination, it is possible to create various shapes by connecting arcs such as circles, ellipses, and waveforms.</p>

グラフ・図・写真（発表の様子等）



8月31日 展示作業、記念セミナー、オープニングセレモニーの様子。会場後方壁面及び左右に展示スペースがある。*なお、図録も事前に作成されていたが、図録掲載作品は中国関税局に課税対象として足止めされ会場に到着していないとの連絡を渡航直前に受け、急遽代替の作品を持参して展示した。これにより図録掲載作品およびポスター掲載作品と展示作品が異なっている。

成果の今後の活用等

以前より、日本陶磁器デザイン協会会員として、韓国陶磁デザイン協会との交流を通し、韓国国内での作品発表をしていたが、今回は展示作業や展覧会、セミナーなどへの参加によって、韓国陶磁デザイン協会の人々をはじめ、中国陶磁工業協会及び清華大学陶磁学院との人的交流の足掛かりを作る事が出来た。今後もこのような催しが継続される見通しであるので、積極的に参加する事で人的・文化的交流を深める事ができるのではないかと考えている。

その他参考となる事項

<http://c.kocenter.cn/www/index.jsp?language=chinese>
 (ポスターおよびDMを貼付ファイルにて送付)